

米海軍佐世保基地内大学 について

1. 米海軍佐世保基地内大学とは	・・・ 1
2. 米海軍佐世保基地内大学で学べること	・・・ 2
3. ブリッジ・プログラム（入学準備コース）について	・・・ 5
4. 授業の様子や実施方法は？	・・・ 6
5. 費用や支払い方法は？	・・・ 9
6. 応募条件について	・・・ 11
7. 大学内での進学や他大学への編入について	・・・ 17

1. 米海軍佐世保基地内大学とは

米軍には軍人として勤務をしている間に高等教育を受ける機会があり、就学支援のためのプログラムが軍ごとに設けられています。(海軍は「ネイビー・カレッジ・プログラム(Navy College Program)」)。

「米海軍佐世保基地内大学」とは1つの大学の名称ではなく、このプログラムを指します。アメリカの多くの大学が協力校としてこのプログラムに参加しており、アメリカから離れた勤務地でも本国と同等の教育を受ける機会を提供しています。

現在、佐世保ではメリーランド大学(University of Maryland Global Campus - 略称は『UMGC』)が日本人就学生を受け入れています。

一般的な大学とは違い、基地の敷地内には大学として独立したキャンパスはなく、基地の施設のコミュニティ・エデュケーション・センター内に大学の事務所、講座室、テストセンターなどがあります。

※アメリカの大学の学位は取得できますが、日本の大学の学位や資格などは取得できません。

※課外活動(クラブ活動やサークル活動など)はありません。

※日本人は米軍関係者のための就学支援(奨学金など)の対象外です。

【重要】

アメリカの教育理念は「自らが学ぶ」ことを重視し、18歳以上は成熟した個人として扱われ、大学は学生が「主体的」に学ぶ場です。

アメリカの大学で学ぶということは、大学の授業で知識を得るだけではなく、大学を通してアメリカの社会に触れ、教室やそれ以外の場でも自分で考え、主体的に行動するための「思考力」「判断力」「実行力」などを養うことが含まれています。

そのため、ネイビー・カレッジ・プログラムを通してアメリカの大学に就学する学生にもアメリカの大学生として「自己責任の下に、個人で選択の判断が下せる大人」であることが期待されており、人任せにするのではなく、それぞれが独立した個人として、自ら行動する姿勢が求められます。

米海軍佐世保基地内大学で学ぶ人たち

主な就学生は米軍の軍人とその家族の方ですが、それ以外に米軍基地で働く民間人(軍属)や、軍を退役後に日本に居住している方々も学んでいます。

これまでに就学した日本人は、高校や大学を卒業した方や大学に在学中の方、海外での留学経験者、職業をお持ちの方や、専業主婦の方など様々です。

長崎県民の受入れについて

「ネイビー・カレッジ・プログラム」は、米軍の軍人とその家族のためのプログラムで、これに該当しない方の参加は認められていません。

ただし、日本では、1990年に在日米軍と日本国外務省の合意のもと、日本人の就学が認められ、日本人が就学するためのガイドラインが作成されました。

このガイドラインで、『日本国内の米軍基地が所在する地域の地方公共団体（自治体）は、日本人就学者募集の窓口として委員会を設置し、就学者募集と応募（書類）の受付と書類審査、および就学候補者の選考（面接）を行う』、『選考の結果、就学候補者として基地内大学に推薦』、『基地内大学は委員会から推薦された者にこの「高等教育プログラム」への参加の承認を与える』とされています。

佐世保では、1991年4月に在日米軍と長崎県・佐世保市が協定を締結し、長崎県民の就学が認められ、「米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会」を設置して就学者募集を行っています。

2. 基地内大学で学べること

就学先はメリーランド大学（University of Maryland Global Campus - 略称は『UMGC』）」

- アメリカ合衆国東部メリーランド州の州立大学のひとつで、大学の本部は首都ワシントンD. C.近郊のアデルファイ（ADELPHI）にあります。
- アメリカ本国にもキャンパスはなく、通信制に特化した大学です。
- アメリカ本国以外に、アジア地区（オーストラリア・インド洋地域を含む-本部・横田）とヨーロッパ地区（北アフリカ・中東地域を含む-本部・ドイツ）に教育拠点があります。（アメリカ本国以外では米軍関係者だけを受入れています。）
- 授業のスケジュールは、主な就学者である米軍関係者が仕事後の時間に学べるように、夕方以降の時間に始まるので、日本人も学校や仕事の後に学ぶことが可能です。
- それぞれの講座は1学期（8週間）で修了をして、単位が付く単位制です。
- 受講する講座の授業は週1または週2回で、1回の授業時間は約3時間です。
- 殆どの講座がオンラインで受講可能で、佐世保まで通学せずに自宅で学習することが可能です。
- 在学年数に決まりがなく、途中で休学を取ることができるので、自分で就学ペースを調整することが可能です。ただし、大学院課程は、専攻修了までの期間に決まりがあり、期間内に修了できなければ、最初からやり直すことになります。
- 学期ごとに受講講座の登録と授業料支払い手続きをします。講座を受講しない学期は授業料の支払いはありません。
- 国内外を問わず、メリーランド大学以外で学部課程の学位を取得済みの場合、この大学では主に専攻に関係する講座を受講することで、アメリカの大学の学位が取得できる制度が利用できます。
- 学位取得を目指さず、興味ある専門分野の講座だけを受講して修了証が取得できる修了証プログラムがあります。
- アメリカの大学で学ぶには英語力が不足、または、英語力に自信がない方のため、学部課程や大学院課程への入学準備としてアカデミックな英語力向上のためのブリッジ・プログラムがあります。

取得可能な学位

課程	学部 / Undergraduate Program		大学院 / Graduate Program
学位 (Degree)	準学士 (短期大学に相当) Associate's Degree	学士 (4年制大学に相当) Bachelor's Degree	修士 (大学院修士課程に相当) Master's Degree
	Associate of Arts (文系)	Bachelor of Arts (文系) Bachelor of Science (理系)	MBA – Master of Business Administration
学位取得に必要な 単位数 (Credit)	60 単位以上	120 単位以上	30 単位以上
最短就学期間 ^①	2 年	4 年	1 年半
在学期間の制限	規定なし	規定なし	規定なし ^②
学期	5 学期制 (1 学期 8 週間)	5 学期制 (1 学期 8 週間)	5 学期制 (1 学期 8 週間)

① 最短就業期間は、学部課程は每学期2講座を、大学院課程は每学期休まずに受講した場合です。

② 大学院課程は専攻修了までの期間 (5年) 内に修了しなければ、最初の講座から受講をやり直すことになります。

学部課程の専攻学科

主専攻 (Major) アジア地区では以下の専攻が履修出来ます。

(2026 年 3 月現在)

準学士 Associate's Degree

文系準学士 - Associate of Arts (A.A.)

General Curriculum

一般教養

学士 Bachelor's Degree

文系学士 - Bachelor of Arts (B. A.)

Communication Studies

コミュニケーション学

General Studies

一般教養

Humanities

人文科学

East Asian Studies

東アジア研究

Graphic Communication

グラフィック・コミュニケーション

English

英語

History

歴史学

理系学士 - Bachelor of Science (B. S.)

Accounting

会計学

Cybersecurity Technology

サイバーセキュリティ技術

Management Information Systems

経営情報システム

Applied Technology

応用技術

Data Science

データサイエンス

Marketing

マーケティング

Artificial Intelligence

人工知能

Environmental Health & Safety

環境安全衛生

Political Science

政治学

Business Administration & Management

経営管理学

Finance

ファイナンス

Psychology

心理学

Computer Science

情報工学

Health Services Management

医療サービス管理

Public Safety Administration

公安行政学

Criminal Justice

刑事司法

Homeland Security

国土安全保障

Social Science

社会科学

Cyber Operations

サイバーオペレーション

Human Resource Management

人事管理

Sustainable Value Chain

持続可能なサプライチェーン管理

Cybersecurity Management & Policy

サイバーセキュリティ管理と政策

Legal Studies

法律学

Web & Digital Design

ウェブ・デジタルデザイン

④ 学位取得を目指す場合、一般教養「General Education Requirements」として、専攻の専門以外の様々な分野の講座を受講し、指定の単位 (準学士は 35 単位、学士では 41 単位) の取得が必要です。

※2025 年秋学期以降、副専攻 (Minor) はありません。

【備考】メリーランド大学以外で学部課程の学位を取得した方が利用できる第 2 準学士・第 2 学士制度があります。

(この制度の説明は 16 ページをご確認ください。)

修了証プログラム (Undergraduate Certificate Program)

学位の取得の有無に関係なく、特定の専門分野の講座を履修して修了証が取得します。

Accounting Foundations 基礎会計	Foreign Language Area Studies - Japanese 外国語研究 - 日本語 ㊸日本人は履修不可
Advanced Management 上級管理	Foreign Language Area Studies - Korean 外国語研究 - 韓国語
American Government and Political Processes アメリカ政府と政治プロセス	HR People Analytics 人的資源分析
Applied Social Sciences 応用社会科学	Health Information Management and Data Analytics 医療情報管理とデータ分析
Artificial Intelligence Foundations 人工知能の基礎	Human Resource Management 人材管理
Augmented and Virtual Reality Design 拡張現実および仮想現実デザイン	Leadership and Ethics 指導力と倫理
Clinical Mental Health Care メンタルヘルスクエア臨床	Machine Learning 機械学習
Cloud Computing and Networking クラウドコンピューティングおよびネットワーク	Management 管理
Computer Networking コンピュータネットワーク	Management Information Systems 管理情報システム
Computer Studies コンピュータ学	Project Management プロジェクト管理
Crime Scene Investigation 犯罪現場捜査	Public Safety Executive Leadership 公共安全部門のリーダーシップ
Cyber Threat Hunting サイバー脅威対策	Spanish for Business and the Professions ビジネスおよび専門職のためのスペイン語
Data Analytics データ分析	Vulnerability Assessment 脆弱性評価
Decision Support for Business ビジネスのための意思決定支援	Watershed Management 水源管理
Digital Design デジタルデザイン	Web Design ウェブデザイン
Digital Marketing デジタルマーケティング	Women, Gender, and Sexuality Studies 女性学・ジェンダー・セクシュアリティ研究
Fundamentals of Workplace Health and Safety 労働安全衛生の基礎	

大学院課程の専攻学科

修士 - Master's Degree	MBA - Master of Business Administration	経営学修士
-----------------------------	---	-------

㊸佐世保では通学制で講座が開講されないため、通信制での受講です。

㊹専攻修了までの期間は5年と定められています。5年を超えた場合、最初の講座から受講をやり直すことになります。

㊺「Master of Science in Transformational Leadership」は、米軍人として勤務経験者のみが専攻可能です。

学部課程や大学院（修士）の情報（メリーランド大学のホームページ）は、下記リンク先、または2次元コードからご確認ください。

学部課程（準学士）:

<https://asia.umgc.edu/online-degrees/associates>



学部課程（学士）:

<https://asia.umgc.edu/online-degrees/bachelors>



修了証プログラム（学部課程）:

<https://asia.umgc.edu/online-degrees/undergraduate-certificates>



大学院課程（修士）:

<https://asia.umgc.edu/online-degrees/masters>



3. ブリッジ・プログラム(入学準備コース)について

母語が英語以外の方が、アメリカの大学教育を受ける上で必要なアカデミックな英語力（英語での読解、作文、文法、コミュニケーション力など）が身につくだけでなく、学術論文作成やリサーチの方法などアメリカの大学で学ぶ基礎作りのために構成されたESL (English as a Second Language) のプログラムです。

	学期	講座番号	講座名	単位数
必須	1	UMEI 030	Interpersonal Communication Skills / 対人コミュニケーションスキル	3 ^⑨
	2	UMEI 020	Integrated Skills for College Literacy / カレッジリテラシーの総合スキル	3 ^⑨
	3	EDCP 102	Integrated Skills for Academic Success / 学術的成功のための総合スキル	3
	4	WRTG 111X	Academic Writing I / 学術的ライティング I	3
	5	WRTG 112X	Academic Writing II / 学術的ライティング II	3
オプション	6	SPCH 100X	Foundations of Speech Communication / スピーチコミュニケーションの基礎	3

注意：このプログラムは最少実施人数(9名)と定められています。

佐世保以外の地域からの参加者も含めて、最少実施人数に満たない場合、大学の判断でプログラムの実施が見送られる場合があります。

また、参加者の人数次第では、佐世保で通学制の授業が実施されずに、ほかの地域の授業に通信制での参加に変更される場合があります。予めご了承ください。

このプログラムの授業の形式は、通学制と通信制（Zoomアプリ使用）の2種類があり、1つのクラスに両方の学生が混在する形で実施されています。

- 第1から第5学期(1年間)までの必須講座と第6学期のオプションの講座で構成されています。
- 受講する順番を入れ替えることや途中の講座を飛ばして先に進むことはできません。
- 受講開始時に受講形式を選択します。受講開始後は、通学制から通信制には変更が可能ですが、通信制から通学制には変更できません。
- 第5学期までを落第せず、“C”以上、GPA“2.0”以上の評価で修了すると修了証(Certificate)が授与され、英語の資格やオプションの第6学期の受講の有無にかかわらず、同大学の学部課程(準学士・学士)に進学できます。ただし、大学院課程への進学には応募条件を満たした英語の資格証明書の提出が必要です。
- 1年間で必須の5講座を連続して受講できなかった場合、最初からやり直すのではなく、翌年以降に残りの講座を受講することができます。
- 受講申し込みと受講料の支払いの手続きは1講座(1学期)ずつです。
- 1講座当たりの授業料は正規入学コースの3単位の講座と同額です。(教科書代込みの金額です。)
- 1講座(1学期)の期間は8週間で、授業は週2回の合計16回です。
- 授業開始は夕方以降(19時前後)に始まり、1回の授業は途中の休憩込みで約3時間の予定です。
- 無断欠席は成績評価の減点対象です。欠席する時は事前に担当講師に連絡をしてください。
- プログラムの途中で正規入学の条件を満たす英語の資格を取得した場合は、その時点で正規入学コースへの編入申請が可能で、編入後も残りの講座を受講したいものがあれば受講ができます。

⑨このプログラムの第1学期と第2学期の2講座の単位は学部課程に進学しても学位取得の加算の対象にはなりません。第3学期から第5学期の3講座の「9単位」と第6学期のオプションの講座を受講した場合のプラス「3単位」が学位取得の加算対象になります。

【重要】大学の判断で、プログラムが始まる時期、講座が実施される時期や授業のスケジュールが変更や延期される場合があります。予めご了承ください。

ブリッジ・プログラムの情報（メリーランド大学ホームページ）は、下記リンク先、または2次元コードからご確認ください。

 https://asia.umgc.edu/bridge-program	 ブリッジ・プログラム パンフレット (日本語版)	 WEB版模擬授業（Virtual Trial Class） （奇数月開催・参加費無料・参加回数に制限はありません） https://asia.umgc.edu/events
--	---	--

4. 授業の様子や実施方法は？

アメリカの大学ですので、授業は全て英語で行われています。

米軍の場合、短期間で勤務地が変わることがあるため、専攻の途中で転勤しても学習を継続できるように通信制での履修が基本となっています。従って、日本の学校に通う学生や昼間働く社会人、佐世保までの通学が難しい人などでも就学することが可能です。

正規入学コースの大学院課程（修士）は佐世保の場合、全講座を通信制で受講しますが、学部課程の授業は大きく2種類に分けられます。

- ①インターネット利用で在宅学習の通信制（Distance Learning）
- ②基地内のコミュニティー・エデュケーション・センターに通う通学制（On-Site）

通信制の場合、インターネット利用での在宅学習にはメリーランド大学提供の Learning Experience Online（略称=LEO） Classroom を使用します。

これは、通信制だけでなく、通学制では授業の資料や課題の提出などにも使用します。

①通信制と②通学制で実施されている授業の形式は下記のとおりです。

①通信制（Distance Learning）	
Online	LEO Classroom にある教材や課題などを用いて学習する通信制の講座。課題提出などの期限はあるが自分のペースでの学習が可能。
Asia Virtual Class	Zoom アプリを用い、決められた日時に自宅から授業に参加。授業の資料の取得や課題提出などは LEO Classroom 内で行う。
②通学制（On-Site）	
Face to Face	週に1回または2回、教室に通う対面式。授業の資料や課題の提出に LEO Classroom を用いる。
Hybrid	週1回または2回、教室で授業が行われるが、課題の提出や同級生とのディスカッションなどは LEO Classroom 内に投稿する通学制と通信制を融合させた形式。
ブレンド（Blended）	
通信制の Asia Virtual Class と通学制の Face to Face の生徒が1つのクラスに混在。講師が教室にいる地域の生徒は通学制ですが、それ以外の地域の生徒は自宅から通信制で受講。	

※佐世保の場合、学部課程の通学制の講座は、ほとんどが日本国内のほかの地域で実施されている授業を同時に佐世保の教室に配信して実施する Hybrid 形式の授業です。

※通学制の講座の時間割は米軍の勤務時間に合わせてあるため、授業開始の時間は平日の夕方以降の時間帯で、1回約3時間の授業が週1～2回のペースで実施されています。

Learning Experience Online Classroom の紹介動画（メリーランド大学ホームページ）は、右記リンク先、または二次元コードからご確認ください。



<https://asia.umgc.edu/students/learning-resources/online-learning/leo-videos>

通学などでの基地内への入場について

米軍基地内にある大学の事務所に行く場合、事前に大学の担当者を通して同基地警備部から入場許可を取る必要があります。（基地入場から退場までエスコート役の大学関係者の同行が必要です。）

ただし「通学制」の講座を受講する学生は、例外として基地に入場するための通学用パス（入場許可証）を申請します。申請者は、まず初めにパスのスポンサーである大学に通学用パスの申請許可を取り、申請に必要な書類を揃えて警備部へ提出し、在日米軍の審査を受けます。（この審査に通らなければパスは発行されません。）

※通学以外の目的に通学用パスを使用することは規則違反です、違反した場合、就学は取り消しになります。

※通学用パスを持っていても同基地内での行動には制限があります。米軍やパスのスポンサーである大学から立ち入りの許可が出ていない地域や施設への立ち入りは禁止です。パスの取扱いを含め、米軍の規則に違反した場合、就学は取り消しになります。

【米軍発行のパスについて】

米軍発行のパスの所有権はアメリカ政府が有しています。

●就学生には通学期間に限り『貸し出し(貸与)』をされます。貸与を受けたパスは、「パスの有効期限が切れた時」や有効期限が残っていたとしても「通学の必要がなくなった時」は、直ちに米軍に返却してください。

●パスを紛失した時は、直ちに米海軍佐世保基地警備部と大学に報告してください。報告後は、同警備部の指示に従い、紛失の手続きが必要です。

※基地の敷地以外で紛失した場合は、日本の警察への紛失の届出も必要です。

㊟紛失の報告および返却義務を怠ることは規則違反に当たります。

講座について(登録や取り消しなど)

受講講座は学期ごとに登録と授業料支払いの手続きをします。

次の学期に開講予定の講座のスケジュールは、学期開始の約1ヵ月前までには発表されます。受講したい講座がある場合は、講座開始前の受付期間中に登録手続きをしてください。

※1年分や半年分をまとめて登録することはできません。

※登録手続きは、入学手続きの際に作成する自分の学生アカウントを使い、インターネットを介してオンライン登録で行います。

※通学制の講座は、1クラスの日本人学生の割合が25%を超えてはならないという規定があります。ただし、通信制と通学制でも英語が母語ではない人向けのブリッジ・プログラムの講座は、この規定の適用外です。

受講講座の登録取り消しは、大学が定めている登録取り消し期間内なら授業開始後でも取り消すことが可能です。授業料の返金可能期間にも決まりがあり、授業料の返金率は取り消した時期により異なります。

※返金可能期間を過ぎてからの登録取り消しでは、授業料の返金はありません。

「講座の登録取り消し (Withdraw)」や「返金 (Refund)」には規則 (Policy) があります。登録手続き前に大学のホームページでこれらの規則を確認し、不明な点があれば大学の担当者にお問い合わせください。

講座の登録取り消しと返金の情報

(メリーランド大学ホームページ) は、
右記リンク先、または二次元コードから
ご確認ください。



<https://asia.umgc.edu/tuition-and-financial-assistance/course-withdrawal-refunds>

休学と復学について

在学年数に限りがなく、専攻課程の途中で休学することが可能で、大学への休学の届出や在籍料などの支払いも不要です。

ただし、大学院課程は専攻修了までの期間が5年と決められているため、5年を超える場合は最初から全ての講座の受講をやり直すことになります。

復学はどの学期からでも可能です。ただし、ブリッジ・プログラムは講座を受講する順番が決められているため、途中で休学を取ると、次の受講講座が開講されるまでは、プログラムに復学できません。

休学期間が2年以上の場合、復学時に再登録手続きが必要です。(再登録料は不要です。)この場合、まずは大学の担当者に連絡を取り、再登録の手続きと過去の就学状況の確認をした上で、受講講座を登録してください。

※長期休学中に専攻が廃止されている場合があるため、講座登録前に過去の就学状況の確認が必要です。大学に問い合わせる時は、確認作業をスムーズに進めるため、氏名以外に学生番号や就学していた時期などを大学の担当者にお知らせください。

※休学中に大学の担当者が変わり、連絡がとれない時は当就学実行委員会事務局までお問い合わせください。

インターネット環境について

通信制の講座はインターネットを介して受講します。受講講座の登録手続きや授業料の支払いなどの各種手続き、教科書や授業の教材の取得や課題の提出などもインターネットを介して行います。

そのため、自宅にインターネット環境が整備されていることが望ましく、大学の授業で用いるGoogleドキュメントや、PDF、Wordなどのファイルが取り扱える端末が必要です。

大学や担当講師との連絡などは電子メールで行うため、電子メールのアドレスが必要です。ただし、携帯電話会社提供のメールアドレスでは受信できない形式の添付ファイルがあるため、パソコンで利用可能なメールアドレス(プロバイダー提供やフリーのものなど)をご準備ください。

【大学からの受信メールに関する注意事項】

大学からの受信メールに目を通しておらず、後日、トラブルに繋がるケースが散見されます。

大学に登録しているメールアドレスを使用するメールアプリとセキュリティアプリは、大学からのメールが確実に受信できるように設定してください。

大学からの受信メールを見落とさないため、メールボックスは定期的にチェックをして、受信メールには必ず目を通し、必要があれば返信をし、不明な点があれば必ず大学の担当者にお問い合わせをして確認をしてください。

5. 費用や支払い方法は？

入学金について

登録料 (Application Fee) として入学手続きをする時に支払います。

	ブリッジ・プログラム／学部課程共通	大学院課程
登録料	50ドル	50ドル

(2026年3月現在)

※ブリッジ・プログラム修了後に学部課程に進学する時は、登録料の支払いは不要です。

※学部課程と大学院課程は分かれているため、ブリッジ・プログラム修了後や学部課程修了後や課程の途中から大学院課程に進学する場合は、別途登録料の支払いが必要です。

授業料について

プログラム修了や学位取得までに必要な単位数	1 講座 (3 単位) の授業料	プログラム修了または 学位取得までの授業料	※参考 1 単位当たりの 授業料	
ブリッジ・プログラム	学位なし(15 単位)	750 ドル	3,750 ドル	250 ドル
学部課程	準学士(60 単位以上)	750 ドル	15,000 ドル以上	250 ドル
	学士(120 単位以上)	750 ドル	30,000 ドル以上	
	第 2 準学士(15 単位以上)	750 ドル	3,750 ドル以上	
	第 2 学士(30 単位以上)	750 ドル	7,500 ドル以上	
大学院課程	修士(MBA-30 単位)	1,008 ドル	10,080 ドル以上	336 ドル

(2026年3月現在)

大学への支払いは1学期ずつで、講座の登録手続きをした後、受講開始前に支払います。

学位取得(卒業)までに必要な授業料は、必要な総単位数に1単位当たりの授業料を掛けて算出します。

ただし、年度ごとの授業料の変更や為替相場の変動の影響で就学前に見積もりをした金額と実際にかかる金額は異なる場合があります。

※ネイビー・カレッジ・プログラムを通して就学した場合、日本人にも米軍関係者向けの授業料と同じ金額が適用されるため、アメリカの同大学に直接就学した場合とでは金額が異なります。

※ブリッジ・プログラムの上記の金額は第5学期の必須講座修了までの金額です。オプションの第6学期を受講する場合、1講座分の授業料を加算してください。

※学部課程でほかの大学で取得した単位を組み込んだ場合はその分の単位数を差引いて算定してください。

※アメリカでは新しい教育年度が始まる時期(8月)に授業料の改定があります。そのため、2026年8月以降は上記の金額から変更されている場合があります。

支払い方法について

授業料の支払いはアメリカドル建てで、支払い方法はクレジットカードのみです。

利用可能な クレジットカード	アメリカン・エクスプレス (AMERICAN EXPRESS)
	ディスカバー・カード (DISCOVER CARD)
	ビザ (VISA)
	マスター・カード (MASTERCARD)

※ディスカバー・カードは日本国内で取得出来ませんが、それ以外は日本国内で発行された提携カードでも支払いが可能です。

※支払い時の為替レートにより米ドルでは同額でも日本円に換算した金額はその都度異なります。

⑩ 自分名義のクレジットカードを所持していない方は、ご家族の同意があれば、家族名義のカードでも支払いが可能な場合があります。ご家族の同意を得た上で、大学の担当者にご相談ください。

6. 応募条件について

次の3つのいずれの条件も満たす方が応募できます。

- ① 18歳以上で日本国籍を有する方
- ② 長崎県内に住民票の住所がある方
- ③ 希望のコースや課程で必要とされる下記の学力や英語の資格の条件を満たしている方

コース	入学準備		正規入学	
	ブリッジ・プログラム	学部課程 準学士-短期大学相当 学士-4年制大学相当	大学院課程 修士-MBA	
就学に必要な学力	高等学校卒業または同等の学力がある方		4年制大学卒業以上	
英語の資格(いずれか1つ)	TOEFL iBT	45点以上	71点以上	79点以上
	IELTS	4.0点以上	6.0点以上	6.5点以上
	英検(実用英語技能検定)	2級以上	準1級以上	
	TOEFL ITP	450点以上	不可	
	TOEIC	Listening 275点 Reading 275点 Speaking 120点 Writing 120点 *4技能の全てで上記の点数以上であること	不可	
	Duolingo English Test	75点以上	95点以上	105点以上
英語の資格の有効期限	取得から5年以内 令和3(2021)年10月以降		取得から2年以内 令和6(2024)年10月以降	

※英検は公益財団法人日本英語検定協会の「実用英語技能検定」です。

※「TOEIC」は「Listening」、「Reading」、「Speaking」、「Writing」の4技能のスコアが必要です。

英語資格の免除とは？

- アメリカや同国と同じ教育システムの高等学校を卒業
 - アメリカや同国と同じ教育システムの短期大学や4年制大学での就学経験者
 - 英語が母語の国や地域で高等学校を卒業または高等教育機関での就学経験者
- 上記の条件に該当する方は英語の資格が免除される場合があります。

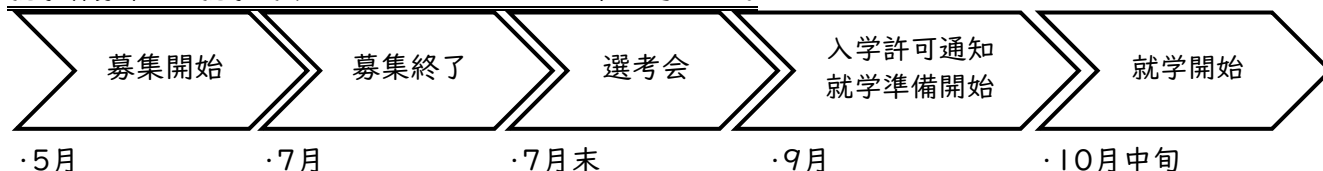
該当者は、大学に受入の可否の確認が必要です。まずは当就学実行委員会事務局までお尋ねください。

募集時期から就学までのスケジュール

佐世保の場合、メリーランド大学の秋の第2学期 (FALL SESSION 2) からの就学開始を予定しており、就学者募集は5月開始の予定です。

※ブリッジ・プログラムは、大学の発表によりプログラムの開講時期が確定します。正規入学コースは、10月以降であれば、入学手続きが完了次第、どの学期からでも就学を始めることができます。

就学者募集から就学開始までのスケジュールは以下の通りです。



※このスケジュールは、2026年3月現在の予定です。今後、変更になる場合もあります。予めご了承ください。

- 選考会は、日本人の選考委員による日本語での面接です。(※筆記試験はありません。)
- 選考会の結果を受け、米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会会長 (=長崎県知事) が就学候補者をメリーランド大学に推薦します。
- 推薦後、大学より入学許可が下りましたら、郵送で通知いたします。

日本国外での就学経験について

日本以外の国や地域の高等学校を卒業した方や高等教育機関での就学経験者の方でも、応募が可能な場合があります。ただし、応募書類提出前に、大学に受入の可否の確認が必要です。

大学への確認には、日数を要し、受入れ確認のために就学されていた高等学校や教育機関の成績表などの提出をお願いする書類があります。該当する方は、先ずは当事務局までお問い合わせください。

学歴審査手続きについて

アメリカ以外の国や地域の高等学校や高等教育機関などに就学していた場合、メリーランド大学への就学決定後の入学手続き時にメリーランド大学による学歴審査を受ける必要があります。

学歴審査の対象者は就学するプログラムやコースにより異なります。以下の表でご確認ください。

	日本国内	日本以外 (アメリカを除く)
ブリッジ・プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学入学資格検定合格者 ● 高等学校卒業程度認定試験合格者 ● 高等専門学校3年次修了者 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高等学校卒業資格を有する者

⑩ブリッジ・プログラムへの就学の場合、日本の高等学校卒業者は審査不要ですが、プログラム修了後に正規入学コースに進学する時にはこの審査を受ける必要があります。

	日本国内	日本以外 (アメリカを除く)
正規入学 / 学部課程	<ul style="list-style-type: none"> ● 高等学校卒業生 ● 大学入学資格検定合格者 ● 高等学校卒業程度認定試験合格者 ● 高等専門学校3年次修了者 ● 準学士以上の学位取得者 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高等学校卒業資格などを有する者 ● 準学士以上の学位取得者

	アメリカを除くすべての国や地域
正規入学 / 大学院課程	<ul style="list-style-type: none"> ● アメリカ以外の高等教育機関で学士の学位取得者

学歴審査を受ける場合、大学指定のアメリカの成績評価機関 (Evaluation Agency) でアメリカの成績評価基準に合わせて評価替えを済ませた成績表の提出が必要です。この評価替えは有料で、卒業校の英文の成績表などの取り寄せや、成績評価機関に評価替えを依頼してから結果が出るまでに日数が掛かります。該当者は、事前に当事務局までお問い合わせください。

英語の資格について

TOEFL iBT

Test of English as a foreign language, Internet-Based Testing の略

アメリカの非営利テスト開発機関” Educational Testing Service (ETS)”が開発した、母語が英語以外の受験者の英語能力を判定するための試験です。英語圏 (アメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリア・ニュージーランドなど) の高等教育機関では留学する際に必要とされる学術的 (アカデミック) な英語の能力 (「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能) を判定する基準として広く用いられています。

テストの形式	受験場所	試験時間	部門別時間配分	(新) バンドスコア	(参考-旧) 部門別スコア
TOEFL iBT	テストセンター	約2時間	Reading (30分・50問)	1.0~6.0	0~30
			Listening (29分・47問)	1.0~6.0	0~30
TOEFL iBT Home Edition	自宅		Writing (23分・12問)	1.0~6.0	0~30
			Speaking (8分・11問)	1.0~6.0	0~30

- コンピュータを使用したテストで、解答にはマウス操作やキーボードでのタイピングが必要です。
- 2026年1月21日より、テストの採点が「バンドスコア方式」(「0.5」ポイント刻みの「1.0」~「6.0」での評価)に変更されていますが、2028年1月までは以前のスコア方式(「0」~「120」での評価)が参考値として併記されます。メリーランド大学から「バンドスコア方式」での応募基準のスコアが発表されるまでは、以前の方式でのスコアで応募が可能です。
- テストの有効期限はテスト日から2年間です。
- TOEFL iBTのテストセンターは九州・沖縄地区では福岡、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄にあります。
- 自宅受験のTOEFL iBT Home Editionはインターネットに接続したパソコンを使用して受験しますが、使用する機器や受験環境の要件に決まりがあります。
- テストの詳細や受験日の確認と申込みはTOEFLテスト日本事務局 (ETS Japan) の受験生向けのページで、テストセンター受験会場はプロメトリックのホームページで確認してください。

TOEFL iBT 関連の情報は、下記リンク先、または2次元コードからご確認ください。

 <p>TOEFL テスト日本事務局 受験者向けページ ETS Japan ホームページ https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/</p>	 <p>TOEFL iBT Home Edition 使用機器と受験環境 ETS Japan ホームページ https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/at-home/1.html</p>	 <p>テストセンター会場確認 プロメトリック ホームページ https://www.prometric-jp.com/test_sub/test_schedule/toefl</p>
--	---	--

TOEFL ITP (Institutional Testing Program)テスト®

団体向けTOEFL テストプログラム (模擬試験)

TOEFL テスト作成元のETS が提供するテストです。

過去のTOEFLで出題された問題が使用されており、テストのスコアに公式な効力はありませんが、試験内容はTOEFL iBTと非常に高い相関性、および妥当性を持つテストとして、受験者のアカデミックな英語力を客観的に判断できるため、世界中の教育機関を中心に利用をされています。

テストの形式は、ペーパー版（マークシート形式）とインターネット接続可能なパソコンを使用するデジタル版の2種類があります。どちらもテストを実施する団体が試験日を設定、試験監督や試験会場を準備して実施します。

このテストには「Level 1 - TOEFL (140問)」と「Level 2 - Pre-TOEFL (95問)」の2つのレベルのテストがありますが、メリーランド大学への応募には「Level 1」のスコアが必要です。

テストの種類とスコアの範囲	総問題数／解答時間	セクション別の問題数／解答時間
Level 1 TOEFL／310－677	140問／約115分	Listening Comprehension 50問／約35分
		Structure and Written Expression 40問／25分
		Reading Comprehension 50問／55分

※正規入学コースの応募には利用できません。

IELTS (アイエルツ)

International English Language Testing System の略

イギリスのケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP IELTS オーストラリアが共同運営で保有する英語能力認定テストです。



受験対象は16歳以上。イギリス・カナダ・オーストラリア・ニュージーランドでは広く利用されており、アメリカでも多くの教育機関が入学審査に利用しています。

英語圏の大学への留学や専門的機関での就労のための『Academic Module』、高等学校・職業訓練プログラムおよびカナダ・オーストラリア・ニュージーランドへの移住申請者向けの『General Training Module』、英国での就学や就業のためのビザ申請用の『IELTS for UK Visas and Immigration (UKVI)』、『IELTS Life Skill』の4種類がありますが、基地内大学への応募は「Academic Module」のスコアが必要です。

テストの種類とバンドスコア	技能別の問題数	解答時間
Academic Module 1.0～9.0	Writing 2問（問1 150語以上 / 問2 250語以上）	60分
	Reading 40問	60分
	Listening 40問	30分
	Speaking	11～14分

- 結果は1.0～9.0までの「バンドスコア」で示され、部門（パート）ごとの英語力のバンドスコアと、総合評価としてオーバーオール・バンド・スコアが与えられます。
- テストの有効期限はテスト日から2年間。
- コンピュータ版は東京・名古屋・大阪で、九州地区ではペーパー版が福岡と熊本で受験できます。

IELTS 関連の情報は、下記リンク先、または2次元コードからご確認ください。

 公益財団法人日本英語検定協会ホームページ http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html	 ブリティッシュ・カウンシル ホームページ https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts
---	---

英検（実用英語技能検定）

公益財団法人日本英語検定協会が運営する文部科学省後援の試験

- 学習レベルに応じて8つの級があります。（5級・4級・3級・準2級・準2級プラス（2025年度からスタート）・2級・準1級・1級）
- 結果は合否で判定されます。
- 隣接する級は同日受験（ダブル受験）が可能です。

- テストは、3つの形式（「従来型」、「S-CBT」、「S-interview」）で実施されています。
- ※「S-interview」は「S-CBT」では受験が難しく、合理的配慮が必要な障がいなどがある方以外はこの形式では受験できません。
- 受験料や所要時間、試験開始の時間などは、試験の形式や受験する級により異なります。
- いずれの形式も指定された試験会場やテストセンター、団体単位で申し込まれた会場での実施です。
- テストの実施期間は、1年間を下記の3つの「検定回」にグループ分けがされています。

第1回検定	4月～7月	第2回検定	8月～11月	第3回検定	12月～3月
-------	-------	-------	--------	-------	--------

※同一検定回で「従来型」と「S-CBT」を併願できます。

試験形式の違い

(L-Listening / R-Reading / W-Writing / S-Speaking)

試験形式	試験日数	試験形式	受験級	開催地
従来型	2日	一次試験(筆記-LRW) 二次試験(面接-S)	1級、準1級、2級、準2級プラス、 準2級、3級、4級、5級	各都道府県に複数の試験会場有 (団体で試験実施の申し込み可)
<p>◆年3回実施(それぞれの検定回で1回ずつ)</p> <p>◆一次試験(筆記-リスニング、リーディング、ライティング)と二次試験(面接-スピーキング)に分けての実施</p> <p>◆一次試験の筆記に合格した人だけが、後日、二次試験を面接官による面接(対面式)で受験します</p> <p>※一次試験は本会場以外に準会場でも受験可能ですが、1級と準1級は本会場のみでの受験です</p> <p>※1級の二次試験は全国14都市の試験会場での実施です(九州・沖縄地区は福岡と沖縄)</p>				
S-CBT	1日	コンピュータ使用(SLRW)	準1級、2級、準2級プラス、 準2級、3級	各都道府県のテストセンターで受験
<p>◆試験日はグループ分けされている検定回の期間中に複数回の実施があり、同じ検定回中に同じ級を3回受験できます</p> <p>◆パソコンを使用して1日で4技能を受験するため、パソコンの基本的な操作(マウス操作など)ができる必要があります</p> <p>◆問題内容はパソコンの画面上に表示されます</p> <p>◆スピーキングはヘッドセットを装着し解答を録音する吹込み式です</p> <p>◆リスニングはヘッドセットで音声を聞き、マウス操作で選択肢をクリックして解答します</p> <p>◆リーディングはマウス操作で選択肢をクリックして解答します</p> <p>◆ライティングは選択方式で、申込時に「筆記型:解答用紙に記述」または「タイピング型:キーボードを使って解答を入力」のどちらかを選択します(解答方法の変更はできません)</p> <p>◆合否は「リスニング」「リーディング」「ライティング」の3技能の結果で一次試験の合否を、「スピーキング」の結果で二次試験の合否を判定し、一次試験と二次試験の両方に合格すると級認定されます</p>				
S-interview	2日	一次試験(筆記-LRW) 後日、全員が 二次試験(面接-S)を受験	1級、準1級、2級、準2級プラス、 準2級、3級	各都道府県に複数の試験会場有
<p>◆「従来型」と同様に一次(筆記)と二次(面接)が2日に分けて実施されますが、全員が二次を受験します</p> <p>◆合否は「リスニング」「リーディング」「ライティング」の3技能の結果で一次試験の合否を、「スピーキング」の結果で二次試験の合否を判定し、一次試験と二次試験の両方に合格すると級認定される</p>				

【一次試験免除】

下記の条件に当てはまる方は、試験の結果が不合格でも「一次試験免除資格」が付与され、次回から3回までの検定回は一次試験免除で受験申し込みをすると、二次試験「Speaking」から受験できます。

従来型	一次試験は合格したが、二次試験が不合格または棄権(欠席)
S-CBT方式	「Listening」「Reading」「Writing」3技能は合格基準スコア以上だが、「Speaking」が合格基準スコア未満
S-interview方式	一次試験の3技能は合格基準スコア以上だが、二次試験が合格基準スコア未満または棄権(欠席)

①一次試験免除で受験する場合も通常の受験と同額の検定料がかかります。

②一次試験免除の資格取得後、同一の「検定回」の期間内に実施されるS-CBTの受験申込に間に合う場合は、一次試験免除を申請し、S-CBTで「Speaking」だけを受験をすることが可能です。

英検（実用英語技能検定）の情報は、
右記リンク先、または二次元コードからご確認ください。
（公益財団法人日本英語検定協会 ホームページ）



<https://www.eiken.or.jp/eiken/>

Duolingo English Test (DET)

2011年にアメリカ合衆国ペンシルベニア州ピッツバーグで設立された会社「Duolingo（デュオリンゴ）」は英語を含めた多言語をインターネットに接続した情報端末で学習する言語学習プラットフォームを開発し、教育ウェブサイトやアプリのほか、2016年からは、オンラインで受験する英語能力測定試験「Duolingo English Test」を提供しています。このテストは、アメリカを中心に6,000以上の教育機関で入学審査などに利用されています。

- インターネット環境とそのほかの受験に必要な条件を満たしていれば、いつでも受験することができます。
- テストの所要時間は1時間。受験から48時間以内に試験結果が出て認定されます。
- テストの結果は10点から始まり、160点満点中の点数を5点刻みの採点で、総合スコアと、個別サブスコアの「Speaking」、「Writing」、「Reading」、「Listening」、総合スコアの「Production（書いて話す能力）」、「Literacy（読んで書く能力）」、「Comprehension（聞いて話す能力）」「Conversation（読んで聞く能力）」で採点されます。サブスコアの平均が総合スコアです。
- テストの有効期限はテスト日から2年間です。

Duolingo English Test の情報は、
右記リンク先、または二次元コードからご確認ください。
（Duolingo English Test ホームページ）



<https://englishtest.duolingo.com/applicants>

TOEIC

Test of English for International Communication の略

一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）が実施・運営をする試験です。TOEFLを実施しているアメリカの非営利テスト開発機関”Educational Testing Service（ETS）”により開発・製作されています。試験の内容は、オフィスや日常生活での英語のコミュニケーション能力を幅広く測定するものです。

- テストの結果はスコアで表示され、Listening & Reading TestはListeningが5～495点、Readingが5～495点、トータル10～990点、SpeakingとWritingのスコアはそれぞれ0～200点です。
- 受験料や所要時間、試験開始の時間などは試験の種類により異なります。
- 九州・沖縄地区では、Listening & Reading Testが福岡、佐賀、長崎、佐世保、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄で、Speaking&Writing Test と Speaking Testは福岡でそれぞれ受験ができます。

テストの種類	解答方法	試験時間	スコア
Listening & Reading Test	マークシート方式	2時間 (L 45分/R 75分)	10～990点(5点刻み)
Speaking & Writing Test	パソコンとヘッドセット使用	1時間20分 (S 20分/W 60分)	S - 0～200点(10点刻み) W - 0～200点(10点刻み)
Speaking Test	パソコンとヘッドセット使用	20分	0～200点(10点刻み)

- ブリッジ・プログラム（入学準備コース）に限り、「Listening & Reading Test」と「Speaking & Writing Test」のテストを受験し、4技能のスコア全てで応募条件を満たすと応募することができます。

※「TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests」、「TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests」や、団体向けの「TOEIC® Program IP (Institutional Program) テスト」のスコアでは応募することはできません。

TOEIC の情報は、
右記リンク先、または二次元コードからご確認ください。
(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会 ホームページ)



<https://www.iibc-global.org/toEIC.html>

7. 大学内での進学や他大学への編入について

メリーランド大学内での進学について

メリーランド大学でブリッジ・プログラム修了後や学部課程の学位取得後に進学にする場合に必要な資格などは以下の通りです。

同大学で取得した学位など	同大学内での進学先	英語の資格証明書の提出	その他の条件
ブリッジ・プログラム修了 (入学準備コース)	準学士・学士	不要	なし
	第2準学士 [※]		準学士を取得済み
	第2学士 [※]		学士を取得済み
準学士	修士	必要	学士を取得済み
学士	学士	不要	なし
	修士		なし

④第2準学士・第2学士は、メリーランド大学以外で準学士や学士を取得した方が利用できる制度です。

※学部課程の途中で大学院課程へコース変更をする場合、同大学で履修済みの講座によっては、英語の資格証明書が不要な場合があります。

※アメリカ以外の国や地域の高等教育機関で取得済みの単位を同大学の単位に組み込む場合は、大学指定のアメリカの成績評価機関 (Evaluation Agency) でアメリカの成績評価基準に合わせて評価替えを済ませた成績表の提出が必要です。

同大学内での進学についての詳細は、大学の担当者にお尋ねください。

【第2準学士(Second Associate's Degree) / 第2学士(Second Bachelor's Degree)制度】

メリーランド大学以外の高等教育機関で学部課程(準学士・学士)の学位取得者を対象とした制度です。

ほかの大学で取得済みの単位をメリーランド大学の単位として組み込み、同大学では主に専攻の専門の講座を受講することで2つ目の学位が取得できます。

学位取得状況	制度利用申込手続きの時期
準学士・学士取得済み (ほか大学などの既卒者の場合)	就学手続きをする時に、この制度の申し込みの手続きをします。 ※ブリッジ・プログラムの就学者は、プログラム修了した後に申込手続きをします。
準学士・学士未取得 (ほかの大学に在学中の場合)	準学士・学士取得後でなければ利用できません。学位取得後に、申し込み手続きをします。 ④他大学に在学中でも条件付きで制度が利用可能な場合があります。

※既得の学位と同一とみなされる専攻は選択できないため、異なる専攻を選択することになります。

この制度のご利用をお考えの方は、まずは同大学のアカデミック・アドバイザーにご相談ください。

第2準学士・第2学士制度の情報は、下記リンク先、または2次元コードからご確認ください。

(メリーランド大学ホームページ)



第2準学士制度

<https://asia.umgc.edu/online-degrees/associates/requirements>



第2学士制度

<https://asia.umgc.edu/online-degrees/second-bachelors#>

アメリカやその以外の国や地域の大学への編入について

メリーランド大学は、アメリカのメリーランド州にもキャンパスがなく、学生ビザの取得に必要な入学許可証 (I-20) を発行していません。

ブリッジ・プログラム修了後にメリーランド大学以外の大学への進学を希望、または、同大学の学部課程や大学院課程に在学中にほかの大学への編入を希望する場合は、相手先大学の入学や編入の条件などを満たす必要があります。必要な情報はご自身で問い合わせ確認してください。

メリーランド州の”University System of Maryland (USM)”に加盟するほかの州立大学への進学や編入は、メリーランド大学で取得済みの単位は比較的簡単に移すことが可能です。ただし、同システムに加盟している大学でも編入先で専攻を変える場合や、アメリカの別の地域の大学への進学や編入では取得済みの単位の一部が移せない場合があります。

アメリカ以外の国や地域への進学や編入でも、取得済みの単位が移せない場合があります。単位の移行については編入希望先の大学に条件などをご自身で問い合わせ確認してください。

※日本以外の国や地域の大学への進学や編入では、別途、学生ビザなどの手配をご自身でしていただく必要があります。

米海軍佐世保基地内大学への就学に関する質問は『米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会事務局』までお問い合わせください。

〒857-8585 長崎県佐世保市八幡町1番10号 佐世保市文化国際課内

電話：0956-24-1111（内線：3314）

E-mail: bunkak@city.sasebo.lg.jp（佐世保市文化国際課メールアドレス）

【電話による問い合わせ受付時間：9:00～17:00（土日祝日を除く）】

※メールでの問い合わせの場合、メールの件名に「基地内大学情報提供希望」、本文には①「氏名（漢字・ローマ字）」、②「住所」、③「就学を希望しているコース」、④「取得済みの英語の資格と取得年、または今後取得を予定している英語の資格」をそれぞれご記入ください。

⑥当事務局からのお知らせメールが受信できるようにメールのアプリやセキュリティの設定を変更してください。

更新：2026年3月●●日